

## 行政報告の主な内容（6課15項目）

(1) 総務課	町表彰式及び栄典受章関係について
	全国町村長大会等について
	防災関係について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	新型インフルエンザ対策について
(3) 町民生活課	自治基本条例の推進について
	クリーンセンターダイオキシン類測定結果について
	ごみの分別啓蒙事業について
	交通安全対策について
(4) 産業振興課	農作物の育成状況について
	上海・北京招へい事業について
(5) ラベンダーハイツ	ラベンダーハイツ利用状況について
(6) 教育振興課	総合文化祭について
	上中吹奏楽部全国大会出場について
(7) 総務課	建設工事の発注状況について

## 行政報告

(平成21年12月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第4回定例町議会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る9月定例町議会以降における町政執行の概要についてご報告させていただきます。

### (総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、平成21年度の町表彰式についてであります。菅野學名誉町民をはじめ多くの皆様のご列席をいただき、11月3日に挙行いたしました。町の関係では尾岸孝雄前町長へ自治功勞表彰を贈らせていただきましたほか、社会貢献賞2名、善行表彰2名、勤続表彰12名、国民健康保険優良家庭3名の表彰と感謝状を2名1団体へ贈らせていただきました。

教育委員会関係では、文化賞1名、文化奨励賞1団体、スポーツ功勞賞3名、スポーツ奨励賞12名6団体の表彰をさせていただいたところであります。

また、国の栄典関係では、11月3日発令の危険業務従事者叙勲において、防衛功勞として瑞宝双光章に菅野<sup>かの</sup>誠一氏、黒柳栄二氏、菅原文夫氏、森<sup>のりお</sup>則男氏が、瑞宝単光章に金曾<sup>かねそ</sup>敏章氏、田口千代仕氏、小川吉明氏、西島 豊氏がそれぞれ受章されました。

また、このほかの表彰関係では、人権擁護委員功績として佐々木幸子氏が法務大臣表彰を受賞されました。さらに過日、尾岸孝雄氏が自治功勞として北海道社会貢献賞を受賞されました。

受章されました皆様のご功績に対し、衷心より敬意を表しますとともに、ますますのご活躍とご健勝をご祈念申し上げますところであります。

次に全国町村長大会とふるさと会等についてであります。11月18日に全国町村長大会に出席してまいりましたほか、上京中に東京ふらの会総会が開催され、沿線市町村長とともに出席をいたしました。

また、ふるさと会関係では、3年に一度の東京上富良野会総会が10月31日に東京で、札幌上富良野会総会が10月23日に札幌でそれぞれ開催され、多くの当町にゆかりのある方々とお会いし、有意義な時間を過ごさせていただいたところであります。ご協力いただきました関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

次に防災関係であります。防災アドバイザー事業として、去る11月27日に防災講演会を保健福祉総合センターで開催しました。当日は、講師に岡田 弘北海道大学名誉教授を迎え、「火の山と共に・・・映像でみる十勝岳の噴火予知と減災」についてと題し、1998年から1999年の十勝岳噴火当時の経験談などを織り交ぜて講演していただきました。町民の方々や駐屯地をはじめとします防災関係機関の関係者等約150人が熱心に受講されたところであります。

また、11月20日には、防災冊子(洪水浸水想定図)作成に伴う住民会長説明会を開催いたしました。これは、近年全国的に集中豪雨災害が多いことから、国において「指定した河川が氾濫した場合に想定される浸水想定区域を都道府県知事が指定し、市町村はその区域を住民へ周知する」よう平成17年に水防法が改正され、昨年、北海道が指定した河川の浸水想定区域を地域住民へお知らせするために、本年度予算で洪水ハザードマップ作成に併せ、防災情報を盛り込んだ防災冊子の原案がまとまったことから、その原案を住民会長へ説明し、ご意見をいただいたものであります。いただいたご意見を基に来年3月までに作成し、町民の皆様へ配布する予定であります。

（総務課行政報告【基地調整関係】）

次に、自衛隊関係であります。9月27日に地元の多田弾薬支処創立53周年記念式典とともに10月10日、第2後方支援連隊創立21周年記念行事、10月17日、北海道殉職隊員追悼式及び北部方面隊音楽まつり、翌18日には、北部方面隊創隊57周年記念行事に出席してまいりました。

また、11月23日には、地元駐屯地の音楽隊創隊50周年記念演奏会と記念祝賀会が当町で開催され、多くの町民の皆様とお祝いしたところであります。

12月9日には、東千歳駐屯地で実施された日米共同指揮所演習を視察してまいりました。

要望関係では、10月15日に富良野地方自衛隊協力会構成の各市町村長の役員とともに、上富良野駐屯地の現状規模堅持及び演習場拡張整備に関する要望を地元の上富良野駐屯地をはじめ、第2師団に行ってまいりました。

11月16日には北部方面総監、北海道防衛局に対して行い、翌17日に防衛省内局及び陸上幕僚監部並びに関係国会議員へ要望してまいりました。

関連して、11月6日に北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会の役員とともに北海道の自衛隊体制維持を求める要望と併せて平成22年度防衛予算要求に係る要望を防衛省、財務省並びに関係国会議員に対し行ってまいりました。

また、防衛施設周辺整備事業など基地関係予算にかかる要望を11月26日、北海道基地協議会として構成の各市町村長とともに防衛省、総務省、財務省並びに国会議員に対し行ってまいりました。

### （保健福祉課行政報告）

次に、新型インフルエンザ対策についてであります。富良野保健所管内においても、10月に入ってから子どもを中心に感染が一気に拡大していましたが、その後、下降線をたどってきております。しかし、11月末の定点医療機関報告によると受診数が微増になっており、依然警報は発令されていることから、今後も継続して、蔓延防止及び適切な受診療養法等の啓発を進めてまいります。併せまして、11月より開始された優先接種対象者への予防接種が適切に行われるよう、受託医療機関と緊密な連携を図り、住民周知の徹底を図ってまいります。

### （町民生活課行政報告【自治推進班関係】）

次に、自治基本条例の推進についてであります。自治基本条例の基本理念であります協働のまちづくりの実践に向けて、町民、議員、町職員で構成します「協働のまちづくり推進準備委員会」を6月25日に設置し、「協働のまちづくり基本指針（仮称）」素案の作成に向けて、これまで11回の会議を重ねたところであります。さらには、職員用の行動指針となる「町民参画による協働のまちづくり行動指針」策定に向けて、町職員による庁内検討委員会を設置し6月4日からこれまで10回の会議を重ねたところであります。

また、自治基本条例の中学生、高校生に対する説明については、東中中学校において、授業教科の一環として条例の内容及び協働のまちづくりの必要性について説明したところであります。今後におきましても、上富良野中学校及び上富良野高等学校にも実施できるよう日程を調整し、幅広い世代への浸透に努めてまいります。

## （町民生活課行政報告【生活環境班関係】）

次に、クリンセンタ - のダイオキシン類の測定結果についてであります。クリンセンタ - 焼却施設において年 2 回実施しております。ダイオキシン類の測定について、10 月に 2 回目の測定を行った結果、A 系が 0.055 ナノグラム・B 系は 0.0000068 ナノグラムでありましたのでご報告をいたします。

今回の結果におきましても、A 系・B 系共に町独自の基準値である 5 ナノグラムを大きく下回る測定結果となりました。施設の運営上問題となる状況ではありませんが、今後とも管理運営には万全を期してまいります。

次に、ごみの分別啓蒙事業についてであります。6 月 4 日から 10 月 2 日までの約 4 カ月間にわたり、国の緊急雇用創出推進事業を活用いたしましてごみ分別啓蒙指導員 2 名を雇用して、町内ごみ集積場 400 カ所の巡回指導及び町民への啓蒙・啓発活動、不法投棄等の監視業務を実施した結果、約 2 割程度のレッドシールの減少が見られるなど、分別に対する町民の意識向上に大きな成果を得ることができたところであります。

ごみの分別につきましては、引き続き町民の皆様のご協力を頂きながら、環境への意識啓発を進め、ごみの減量化に努めてまいります。

また、不燃ごみ指定袋の切り替えについてであります。平成 18 年 10 月の処理料金改定時からこれまで、料金の差額分をシール貼付していただくようお願いしておりましたが、この度旧料金の指定袋の在庫が少なくなったことから、新しい指定袋を 11 月から販売しております。これに伴いまして、家庭に残っている古い指定袋と差額シールの買取販売事務を役場においても行えるよう条例改正して、11 月 2 日から役場窓口で指定袋と差額シール等の買取販売事務を実施するとともに、町民の皆様の利便性を図るため、11 月の各日曜日に臨時販売所を 3 回開設して 53 名の方々にご利用いただきました。

今後におきましても、町民の皆様にお知らせしながら来年3月まで買取販売窓口を開設する予定であります。

次に、交通安全対策についてであります。永年要望しておりました道道吹上・上富良野線と町道東2線道路交差点に、信号機が新設され、11月13日から稼働いたしました。

今後とも、適切な交通安全対策が図られるよう関係機関等へ働きかけるとともに交通安全対策の推進に取り組んでまいります。

#### （産業振興課行政報告【農業振興班関係】）

次に、農業関係であります。報道等で既にご承知のとおり、本年は夏の天候不順が大きく影響し、作物の種類を問わず、収量減や品質の低下など、大きな農業被害を招く結果となりました。

特に、主要作物である米や麦類を中心に大きな被害が確認されており、本町の農業に与える影響は大変深刻であると認識をしているところであります。

町といたしましては、今回大きな被害を受けられた農業者の方々に対しまして、来年以降の農業経営が安定的に継続できるよう、今定例会に補正予算を計上して、その対応にあたりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

#### （産業振興課行政報告【商工観光班関係】）

次に、観光関係であります。富良野・美瑛広域観光推進協議会で進めております「上海・北京招へい事業」の一環として、11月9日から11月13日の5日間、沿線各自治体代表者、観光協会、さらには観光事業に携わる民間事業者の方々とともに中国、

上海・北京へ赴き、招へい活動を行ってまいりました。

今回の活動では、上富良野町観光大使であります「王思椒」氏のご尽力により、上海市旅遊局への表敬訪問、現地エージェントを招いての観光セミナーや商談会、さらには、温泉やスキーをはじめ、富良野・美瑛エリアの魅力を紹介する各市町村長のプレゼンテーションなど、多様な現地関係者の皆様を対象に、招へい活動を展開することができました。

また、「中国経済の発展、富裕層への観光ビザの解禁によって、個人での海外観光は益々増加する傾向にあり、加えて富良野・美瑛地方が、テレビなどのメディアでも紹介される機会が増え、それに伴い北海道人気が高くなってきている」との現地情報も得まして、今後の広域観光振興に大きな手ごたえを感じたところであります。

### (ラベンダーハイツ行政報告)

次に、ラベンダーハイツ関係についてであります。特養の11月末現在の入所状況につきましては、50床満床ではありますが、本年度は入院される方が多いことから実利用率が8ヶ月間の平均で90.8%と、例年になく低下しているところであります。なお、入所申し込みの待機状況につきましては、早期に入所を希望されている町内の方は16名となっている状況であります。

ショートステイについては、特養入所者の入院中の空床も利用できるよう上川支庁の承認を受け、急な利用希望にも受け入れができるよう8月1日から改善を図ったところであります。

デイサービスについては、4月から利用定員を20名から25名にするよう運営規程を改正し、スタッフ体制の強化、利用者の送迎方法の見直し等により、受け入れ増に取り組んでいるところであります。



### （教育振興課行政報告）

次に、町総合文化祭についてであります。10月31日から11月3日までの4日間、社会教育総合センターと保健福祉総合センターを会場に開催しました。

今回の文化祭は、町民コンサート、芸能発表等に39団体の参加と1,491点の展示をいただき、期間中約3千百名の方々にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。

今後も、町内の文化愛好者及び団体の自主的な発表の場として開催してまいりたいと考えております。

次に、吹奏楽部全国大会出場についてであります。上富良野中学校の吹奏楽部は10月10日に札幌市で開催された第9回東日本吹奏楽大会に3年連続の出場を果たし、金賞を受賞したところであります。

この成果については、文化祭における町民コンサートにも参加いただき、多くの町民の皆様の前で披露され感動を与えていただいたところであります。

### （総務課行政報告【企画財政班関係】）

最後に建設工事の発注状況についてですが、9月定例議会の報告以降に入札執行した建設工事は、12月8日現在で、今定例会に上程の1件を含め、件数で15件、事業費総額で3億1千963万500円となっております。

本年度累計では、55件、事業費総額9億2千790万6千円となっております。

なお、お手元に「平成21年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。